

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	261-01-01		
事務事業名		害虫等対策事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2843
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	6	環境衛生		款 4 衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項 1 保健衛生費
					目 3 環境衛生費
対象(誰を・何を)		一般市民			
目的(どうしたいか)		衛生害虫及び不快害虫の抑制及び駆除を行うことにより、公衆衛生の向上を図り、健康で快適な生活環境を確保する。			
手段(事業内容)		公共用地や水路等に不快害虫抑制剤・害虫駆除液の散布を行う。			

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	296	252	250
人件費	1,035	1,130	974
総事業費	1,331	1,382	1,224
うち市負担分	1,331	1,382	1,224

30年度決算主な内訳
【薬剤購入】 ・不快害虫抑制剤 ・害虫駆除液

活動指標

指標名	1年間で薬剤散布及び配布した延件数	単位	件
指標の説明	市民相談により、市が行った薬剤散布及び市民に薬剤配布した延べ件数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	45	28	28

参考数値

成果指標

指標名	市が行った公共用地への薬剤投入及び散布率	単位	%
指標の説明	市民の相談により、原因場所が公共用地と判明した場合には薬剤の投入及び散布を行う。		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 衛生害虫や不快害虫についての相談件数は前年度と比較すると減少しておりますが、気候変動に影響されることから今後も増加する可能性が高く、衛生的な環境を維持するために継続して事業を実施する必要があります。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	261-01-02		
事務事業名		飼犬登録及び狂犬病予防事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2842
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	6	環境衛生		款 4 衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項 1 保健衛生費
					目 3 環境衛生費
対象(誰を・何を)		犬を飼っている市民			
目的(どうしたいか)		飼犬登録率・狂犬病予防注射接種率の向上を目指すと共に、狂犬病に感染しないように理解と予防に取り組む。			
手段(事業内容)		市内獣医師と委託契約し、市内40箇所での年1回の集合予防注射実施によって、各地域ごとに飼犬登録と狂犬病予防注射の接種がしやすい環境を作って目的達成に取り組んでいる。			

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	991	1,472	1,104
人件費	5,145	5,703	4,745
総事業費	6,136	7,175	5,849
うち市負担分	6,136	7,175	5,849

30年度決算主な内訳
【事業費】
予防注射関連文書送付料 252千円
登録・注射済票手数料徴収 事務委託料 581千円
犬の登録管理システム ソフト購入 486千円

活動指標

指標名	集合注射 会場数	単位	箇所
指標の説明	注射頭数向上のための取り組み		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	40	40	40

参考数値
総登録頭数 5,248頭
注射頭数 3,117頭

成果指標

指標名	狂犬病予防注射の接種率	単位	%
指標の説明	登録頭数に対する注射頭数(注射頭数÷登録頭数×100)		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	60	59	60

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 法で定められている事業で、今後も狂犬病予防注射の接種率を向上させるよう、事業を継続していく必要がある。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	261-02-01		
事務事業名		共同浴場管理運営事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 環境衛生課			連絡先		内線2842
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	6	環境衛生			款	4 衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全	項		1 保健衛生費	
				目		3 環境衛生費	
対象(誰を・何を)		市民					
目的(どうしたいか)		保健衛生の向上及び生活環境の改善を図る。					
手段(事業内容)		施設のある地域町会に指定管理者として管理運営を委託し、利用者へのサービス向上を図る。					

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	10,986	10,533	4,975
人件費	2,370	2,948	2,428
総事業費	13,356	13,481	7,403
うち市負担分	13,356	13,481	7,403

30年度決算主な内訳
【事業費】 保守管理・修繕等委託料 3,341千円 指定管理委託料 7,191千円

活動指標

指標名	営業日数	単位	日
指標の説明	営業日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	292	308	310

参考数値
延べ入浴者数(年度別) H30 22,190人 H29 23,113人 H28 26,644人

成果指標

指標名	延べ入浴者数	単位	人
指標の説明	現金及び回数券による延べ入浴者数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	23,113	22,190	21,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	成果は不十分である。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 施設の老朽化や利用者の減少など課題は多く、現在進めている市営住宅の改修整備完了までに、事業のあり方を検討する必要がある。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	261-03-01		
事務事業名		環境調査・監視事務事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)
担当部署名		生活環境部 環境衛生課			連絡先		内線2830
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	6	環境衛生			款	4 衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全			項	3 公害対策費
						目	1 公害対策費
対象(誰を・何を)		羽曳野市域の環境(水・大気・騒音等)					
目的(どうしたいか)		日常生活の住環境のために大気、河川水質、騒音の状況を監視し、被害・異常発生の未然防止に努める。					
手段(事業内容)		市域では府の環境監視を行う観測地点がないため、人への健康被害や動植物への影響など環境被害が生じないよう河川水質(5水系、5定点)、大気質(一般環境DXN、2地点)、環境騒音・自動車騒音面的評価(幹線沿道4定点、一般地域23定点)での状態を通年に監視する。					

事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	9,180	9,221	10,614
人件費	2,740	3,779	3,795
総事業費	11,920	13,000	14,409
うち市負担分	11,920	13,000	14,409

30年度決算主な内訳
【事業費】
水質検査委託料 4,309千円
大気検査委託料 3,175千円
環境騒音測定委託料 670千円
自動車騒音面的評価委託料497千円
その他 569千円

活動指標

指標名	調査地点数	単位	地点
指標の説明	羽曳野市域で測定を行っている調査の地点数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	36	36	36

参考数値
ダイオキシン類
西部 0.028 pg-TEQ/m ³
東部 0.027 pg-TEQ/m ³
(基準値：0.6)
大気
浮遊粒子状物質(SPM)
古市局 0.016 mg/m ³
郡戸局 0.016 mg/m ³
(基準値：0.10)

成果指標

指標名	一般環境騒音に係る環境基準達成率	単位	%
指標の説明	全時間帯(朝・昼・夕・夜)での環境基準達成率		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民からの環境に対する関心が市に多く寄せられている。今後、調査項目の再検討や新規調査項目の検討も必要になってきている。市民にとってよりよい住環境を創成し、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを目指す。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		261-03-02			
事務事業名		環境相談・指導事業		事務の種類			
				自治事務(義務的なもの)			
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先			
				内線2830			
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項	3	公害対策費
					目	1	公害対策費
対象(誰を・何を)		市民相談					
目的(どうしたいか)		生活環境の保全、向上、及び、地域の美化推進を図ることにより住み良いまちづくりを進める。					
手段(事業内容)		市民からの相談に対するアドバイス、工場・事業場に対する指導等。					

事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	8,147	4,157	4,174
総事業費	8,147	4,157	4,174
うち市負担分	8,147	4,157	4,174

30年度決算主な内訳
【事業費】 必要経費なし

活動指標

指標名	苦情相談件数(公害・美化)		単位	件
指標の説明	年間の苦情相談受付件数			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	122	110	110	

参考数値
公害苦情件数 48件 美化条例苦情件数 62件 (内解決件数 79件)

成果指標

指標名	苦情相談 解決率(公害・美化)		単位	%
指標の説明	苦情相談を受理し、解決した割合			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	80.3	72.0	75.0	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 今後、急激な生活環境の変化は考えられないため現状維持の評価とする。 課題としては相談内容が多様多様に及ぶため、対応に苦慮することがある。 研修等への受講、装備の充実により、対応力や資質の向上を図る。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	262-01-01				
事務事業名		石川クリーン作戦事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2830		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	2	環境美化の推進		項	3	公害対策費
					目	1	公害対策費
対象(誰を・何を)		石川河川流域、及び、流域住民					
目的(どうしたいか)		河川流域の水質向上及び水環境の改善を通じて流域住民の意識向上を図る					
手段(事業内容)		官民共同で河川流域の清掃。					

事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	1,037	806	1,039
人件費	2,370	4,157	4,174
総事業費	3,407	4,963	5,213
うち市負担分	3,407	4,963	5,213

30年度決算主な内訳
【事業費】 石川クリーン作戦用品 (リュック・軍手) 801千円 その他 5千円

活動指標

指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	クリーン作戦当日の参加人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2,742	2,405	2,500

参考数値
参加者数 2,405人
ゴミ回収量 可燃物 7.8 t 不燃物 1.9 t

成果指標

指標名	ごみの回収量	単位	t
指標の説明	クリーン作戦でのゴミ回収総量		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	12.0	9.7	10.0

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 現在、大和川流域において、環境、河川、下水道の各担当部局が、共に連携し、流域ぐるみで水辺環境の改善について計画等を策定し、取り組みを推進しているところ。また、河川における水環境問題や流域市町村の水道水の取水問題、海洋域におけるマイクロプラスチックや漂流ゴミの問題などを含んでおりますので、本市においては、事業を継続しながら将来の方向性の検討を行います。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	262-01-02		
事務事業名		まちかど清掃事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2841
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	6	環境衛生		款 4 衛生費
	施策の方向	2	環境美化の推進		項 1 保健衛生費
					目 7 環境美化対策費
対象(誰を・何を)		羽曳野市域			
目的(どうしたいか)		公共施設周辺のポイ捨てゴミの清掃を行うことにより、環境美化の啓発を行う。			
手段(事業内容)		市職員による駅前及び公共施設周辺の清掃活動			

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	148	453	455
総事業費	148	453	455
うち市負担分	148	453	455

30年度決算主な内訳
【事業費】 必要経費なし

活動指標

指標名	開催回数	単位	回
指標の説明	まちかど清掃開催回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2	0	2

参考数値
職員参加人数 2016年 5月 148人 2016年11月 145人 2017年 5月 153人 2017年11月 177人 2018年は雨天等のため実施なし

成果指標

指標名	職員参加人数	単位	人
指標の説明	まちかど清掃参加延人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	330	0	442

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 環境美化に対する意識の向上のために啓発活動の手法・手段を検討し、市域のポイ捨てゴミの減少に努める。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	263-01-01			
事務事業名		環境教育推進事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2830	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4 衛生費
	施策の方向	3	環境教育の推進		項	3 公害対策費
					目	1 公害対策費
対象(誰を・何を)		羽曳野市域の小学生				
目的(どうしたいか)		環境教育の一環として、エネルギーと環境との関わりを考える授業や、水生生物とのふれあいを通し、環境について関心を喚起し美化の推進につなげる。				
手段(事業内容)		関西電力(株)協力による「環境教育授業」、大阪府石川河川公園との共催事業の「水辺の観察会」				

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	30	19	50
人件費	2,000	3,023	3,036
総事業費	2,030	3,042	3,086
うち市負担分	2,030	3,042	3,086

30年度決算主な内訳
【事業費】 消耗品費 19千円

活動指標

指標名	環境教育開催回数	単位	回
指標の説明	環境衛生課で行っている環境教育の開催回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2	2	3

参考数値
7月 水辺の観察会 17人 12月 環境教育授業 (はびきの殖生学園5年生対象) 53人

成果指標

指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	環境教育の参加人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	84	70	120

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 民間力の活用や大阪府との共催で事業を行うことにより経費の節減が出来た。また、環境保全への意欲の増進を目的とした環境教育の取り組みとして、感性の柔らかな年代である小学生と家族を対象とした「水辺の観察会」や民間事業者が行う「電気の話」は、子どもたちの未来に向かって「環境」という意識付けになることを目的としているので、事業の継続が望ましい。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	271-01-01				
事務事業名		生ごみ処理機購入助成事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2841		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		款	4	衛生費
	施策の方向	1	ごみの減量化の推進		項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
対象(誰を・何を)		生ごみ処理機を購入した住民					
目的(どうしたいか)		ごみの減量化と再資源化を図る。					
手段(事業内容)		生ごみ処理機を購入した住民に対し費用の一部を助成する。					

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	20	40	100
人件費	1,351	773	855
総事業費	1,371	813	955
うち市負担分	1,371	813	955

30年度決算主な内訳
【事業費】 助成金交付金額 40千円

活動指標

指標名	助成件数	単位	件
指標の説明	一年間で助成した件数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	1	2	5

参考数値

成果指標

指標名	一年間で助成した金額	単位	千円
指標の説明	生ゴミ処理機を購入に対し、助成した金額		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	20	40	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当でない。	C
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	見直す必要がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	成果は不十分である。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合が可能である。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献していない。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減する必要がある。	C
	人件費削減の余地はあるか。	削減する必要がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 ごみ減量化につながる事業ではあるが、使用世帯数について減少傾向にあり、廃止に向けて検討している。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	272-01-01		
事務事業名		ペットボトル回収事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2840
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		款 4 衛生費
	施策の方向	2	ごみの再資源化の推進		項 2 清掃費
					目 1 清掃総務費
対象(誰を・何を)		羽曳野市域から排出されるペットボトル			
目的(どうしたいか)		ごみの減量化及び再資源化を図る。			
手段(事業内容)		公共施設や地域集会所等に専用回収容器を設置し、市内から排出されるペットボトルの回収を行う。			

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	118	74	199
人件費	3,581	3,589	3,753
総事業費	3,699	3,663	3,952
うち市負担分	3,699	3,663	3,952

30年度決算主な内訳
【事業費】 折りたたみ式回収ボックス購入 74千円

活動指標

指標名	回収日数	単位	日
指標の説明	年間回収日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	142	139	140

参考数値
回収量 H29 30 t H30 32 t R 1 33 t (見込)

成果指標

指標名	回収量	単位	t
指標の説明	年間回収量実績		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	30	32	33

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 ごみ減量化及び再資源化に係る点から見ても必要な事業である。今後、回収量の増を図るべく、回収拠点の増加などの方策を検討していく必要がある。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	272-01-02			
事務事業名		古紙回収助成事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2843	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		款	4 衛生費
	施策の方向	2	ごみの再資源化の推進		項	2 清掃費
					目	1 清掃総務費
対象(誰を・何を)		古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等				
目的(どうしたいか)		ごみの減量化及び再資源化を図る。				
手段(事業内容)		古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等に対し助成金を交付する。				

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	4,867	4,545	5,000
人件費	2,017	1,907	2,221
総事業費	6,884	6,452	7,221
うち市負担分	6,884	6,452	7,221

30年度決算主な内訳
【事業費】
前期助成金額 2,305千円
後期助成金額 2,240千円

活動指標

指標名	古紙集団回収実施団体登録数	単位	件
指標の説明	前期・後期分延べ回収実施団体数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	300	299	302

参考数値
回収量
新聞 1,465t
雑誌 383t
段ボール 300t
古布 123t

成果指標

指標名	古紙集団回収量	単位	t
指標の説明	年間回収量		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2,434	2,271	2,500

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 昨今、インターネットや電子書籍が発達し、新聞や雑誌は減少してきている状況ではあるものの、通販の普及で緩衝材や梱包用ダンボール等のごみの排出が増加している。この事業は、ごみの減量化及び再資源化につながる事業であり、より一層市民の協力を得られるように啓発を図る。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	273-01-01	
事務事業名		ごみ収集事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2843	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		款	4 衛生費
	施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討		項	2 清掃費
					目	2 塵芥処理費
対象(誰を・何を)		一般家庭				
目的(どうしたいか)		一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				
手段(事業内容)		市内の家庭から発生する一般廃棄物(ごみ)を業務委託により収集及び運搬を行う。				

事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	674,219	671,767	682,809
人件費	7,281	6,291	5,159
総事業費	681,500	678,058	687,968
うち市負担分	681,500	678,058	687,968

30年度決算主な内訳
家庭ごみ収集委託料

活動指標

指標名	委託業者家庭系ごみ収集運搬量	単位	t
指標の説明	可燃ごみ+可燃粗大+不燃粗大		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	24,594	24,625	24,500

参考数値
H29年3月末 49,768世帯
H30年3月末 50,069世帯
H31年3月末 50,069世帯

成果指標

指標名	市民一人1日あたりの家庭系可燃ごみの排出量	単位	g
指標の説明	年間家庭系可燃ごみ収集運搬量÷365(日)÷年度末人口		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	599	604	601

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 引き続き、収集業者に対する適切な指導を行いながら、適正な収集・運搬を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		273-01-02			
事務事業名		し尿収集事業		事務の種類			
				自治事務(義務的なもの)			
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先			
				内線2841			
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		款	4	衛生費
	施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討		項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
対象(誰を・何を)		一般市民					
目的(どうしたいか)		一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。					
手段(事業内容)		市内の家庭から発生する一般廃棄物(し尿)を業務請負により収集及び運搬を行う。					

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	21,576	19,651	19,200
人件費	3,294	4,872	3,379
総事業費	24,870	24,523	22,579
うち市負担分	24,870	24,523	22,579

30年度決算主な内訳
し尿汲取業者助成金

活動指標

指標名	し尿汲み取り人口	単位	人
指標の説明	羽曳野市域のし尿の汲み取り人口		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	5,390	4,861	4,500

参考数値
汲取り人口
H29年度 5,390人
H30年度 4,861人

成果指標

指標名	し尿処理率	単位	%
指標の説明	羽曳野市域のし尿の処理率		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 引き続き、収集業者に対する適切な指導を行いながら、適正な収集・運搬を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	273-01-03				
事務事業名		柏羽藤環境事業組合負担金事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2841		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		款	4	衛生費
	施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討		項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
対象(誰を・何を)		一般廃棄物(家庭系・事業系・し尿)					
目的(どうしたいか)		一般廃棄物の適正な処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。					
手段(事業内容)		市内及び市内事業所から排出された一般廃棄物の中間処理及び最終処分を近隣3市(柏原市・羽曳野市・藤井寺市)で構成する一部事務組合で処理を行い、搬入量に応じた負担金を各市から支出し、適正で効果的な廃棄物の処理を行う。					

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	1,001,090	851,842	885,738
人件費	2,592	2,645	3,036
総事業費	1,003,682	854,487	888,774
うち市負担分	1,003,682	854,487	888,774

30年度決算主な内訳
第1・四半期分113,045千円
6月分期末勤勉手当21,748千円
第2・四半期分105,288千円
9月分公債費償還金63,899千円
第3・四半期分118,408千円
12月分期末勤勉手当23,410千円
第4・四半期分273,371千円
3月分公債費償還金132,673千円

活動指標

指標名	柏羽藤環境事業組合負担金	単位	千円
指標の説明	一年間の羽曳野市の負担金		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	1,001,090	851,842	885,738

参考数値
H29年度(ごみ)総搬入量 34,998t
H30年度(ごみ)総搬入量 35,623t
H29年度(し尿)総搬入量 24,706k1
H30年度(し尿)総搬入量 23,944k1

成果指標

指標名	ゴミ・し尿処理率	単位	%
指標の説明	羽曳野市域におけるゴミ及びし尿の処理率		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 一般廃棄物の共同処理を目的とした一部事務組合に加入し、運営費用の一部を負担するもので、スケールメリット(規模効果)により適正かつ効果的に廃棄物処理が行なわれていることから、今後とも本事業を継続することは妥当である。引き続き、構成3市と事務組合で効果的で適正な運営に向けた検討を続けていく。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	273-01-04				
事務事業名		水銀等使用廃製品の分別収集事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2843		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		款	4	衛生費
	施策の方向	2	ごみの再資源化の推進		項	2	清掃費
					目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
対象(誰を・何を)		一般家庭					
目的(どうしたいか)		羽曳野市でいきいきと安心して暮らせる環境を整える。					
手段(事業内容)		法の求めにより、家庭から排出される一般廃棄物のうち、水銀等使用廃製品を分別収集する。					

事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費		142	16
人件費		2,645	2,602
総事業費	0	2,787	2,618
うち市負担分		2,787	2,618

30年度決算主な内訳
【事業費】 水銀等使用廃製品回収BOXの購入

活動指標

指標名	収集回数	単位	回
指標の説明	年間回収量実績		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
		43	52

参考数値
H30年6月1日から実施

成果指標

指標名	収集運搬量	単位	kg
指標の説明	年間回収量実績		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
		4,564	5,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 水俣条約・水銀汚染防止法・廃棄物の処理及び清掃に係る法律施行令・同施行規則・大気汚染防止法

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		523-02-01	
事務事業名		と畜場管理運営事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先 内線2811	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 3 と畜場特別会計
	施策	2	商工業・サービス業		款 1 総務費
	施策の方向	3	地域産業の活性化		項 1 総務管理費
					目 1 一般管理費
対象(誰を・何を)		羽曳野市立南食ミートセンター			
目的(どうしたいか)		計画的な施設整備により衛生管理に努め、重要なタンパク源である良質な食肉を安全かつ安定的に供給する。			
手段(事業内容)		地場産業の育成と発展を図るとともに、と畜場の健全な運営と今後の運営のあり方について協議を継続していく。			

事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	56,255	63,582	59,941
人件費	7,036	5,291	4,933
総事業費	63,291	68,873	64,874
うち市負担分	63,291	68,873	64,874

30年度決算主な内訳
【事業費】
・一般管理費 17,920千円
・污水浄化施設管理運営費 40,721千円
・管理運営委託料 4,941千円

活動指標

指標名	開場日数	単位	日
指標の説明	ミートセンターが開場した日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	140	140	140

参考数値
処理頭数実績
平成28年度 12,724頭
平成29年度 12,306頭
平成30年度 10,822頭

成果指標

指標名	処理頭数	単位	頭
指標の説明	一年間に処理した牛馬の頭数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	12,306	10,822	12,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 建物及び設備の経年による老朽化に伴い、修繕箇所や修繕費用等も増加傾向にあるものの、指定管理者の経営努力により効率的な運営が行われている。 また、ミートセンターのあり方についてはこれまでどおり大阪府や地元組合と引き続き協議を継続していく。